

セントラル建設・阿部社長
**建設と介護の
「複業化」を紹介**
「がんばる中小企業」フォーラムで



経済産業省選定の「がんばる中小企業・小規模事業者300社」による情報発信などを目的としたフォーラムが、3日と

4日に都内で行われた。4日のパネルディスカッション(サービスマネジメント部門)には、セントラル建設(岐阜県恵那市)

の阿部伸一郎社長も写真も出席し、建設と介護の「複業化」を進める同社の取り組みを紹介した。

舗装、土木工事を本業とする同社は、2006年度に介護用品のレンタルを始め、それに伴って発生するリフォーム需要を取り込む仕組みを構築。まったく実績がなかった建築工事の売り上げを伸ばし続け、ここ数年は本業の売り上げにも波及効果をもたらしているという。

阿部社長は、建設と介護の「複業化」を「地域の安全・安心を守るとともに、高齢化社会にも対応した究極の社会貢献事業」と表現。全国の地域に密着する建設業者にノウハウを伝える活動も進めている。